活動報告「風の音がきこえる」

～パラグアイの難聴児との出会い～

横浜市立東小学校
川村 ひとみ

報告概要

- パラグアイってどんな国？
- パラグアイでの活動
- 聴覚までの道のり
- 私が出会った子どもたち
  - 補聴器にキス　Aくん
  - 補聴器は宝物　Bさん
- その他の活動
- 活動をふり返って
  - ～パラグアイの想い出～
- 帰国後の活動

パラグアイってどんな国？

パラグアイってどんな国？

- 日本とのつながり・・・入植73年
  終戦直後、ラ・コルメナが
  日本に支援物資を送る。
- 何語を話すの？・・・・スペイン語、グァラニー語を
  話すバイリンガル
- 何が有名？・・・・・・サッカーが強い。
  ・・・南米一、世界一の親日国
- 気　候・・・・・・・・・亜熱帯　四季の区別はあるが、
  年間通して暑い国。最高気温が
  45度を超えることもある。
  冬は5度。

パラグアイ人の知っている日本

広島、長崎に原爆を落とされた世界唯一の被爆国。
戦争であれだけの被害を受けながら、見事復興した日本を尊敬。

日本製の電化製品は壊れない。憧れの日本車。

日韓でワールドカップを開催
みんな空手ができる。（ジャッキーチェーンは日本人？）

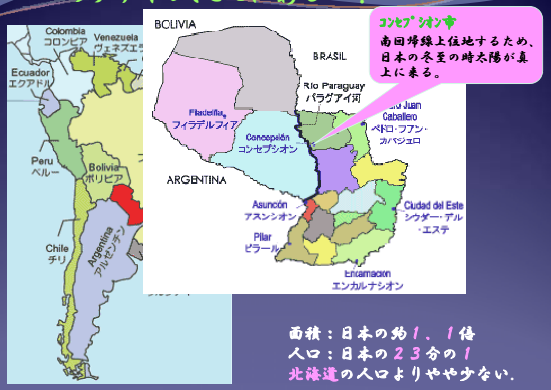
子どもに大人気、カメハメハー、キティちゃん、ドラえもん、
ポケモン
勤勉、お金持ち。日本語を学んで、日本で働きたい。

ミスユニバースは日本人。

地震が多い。
治安のよい国、でも最近は・・・？

パラグアイ人が日本のことを知ってるほどに、日本はパラグアイを知らない。

パラグアイってどこにあるの？



面積：日本の約１．１倍
人口：日本の２３分の１
北海道の人口よりやや少ない．

パラグアイ日本人会連合会ＨＰより

コンセプシオンの魅力１　動物との共に生きる。

羊の行進

雨の日の馬の散歩

アヒルの親子の水浴び

牛の食事

コンセプシオンの魅力２

アンティークな街並み

魅力的な女性

自慢の夕日

Escuela Básica No 6873 Priv.Subv
フォルトゥナタ・グレスネル学校

１９９３年に創立
ミッション系スクール

児童・生徒数　約３３０名
幼稚部、１年～９年生
うち、軽度を含め何らかの障害のある児童・生徒数約１００名

教員数　４０名
（シスター５人を含む）

二部制　午前の部（7:00～11:00）
午後の部（13:00～7:00）

クラス　一般級（軽度含む）
個別支援学級
難聴学級

遠方の児童・生徒ための寄宿舎。

朝会の様子

フォルトゥナタ・グレスネル学校

- **対象となる児童・生徒**
  特別な支援を必要とする
  児童・生徒
  例えば：**聴覚障害児**
  （約30名）
  学習障害児
  ダウン症候群、その他
  そして
  一般児童・生徒

本校は、統合教育を目指して設立された学校です。

要請内容

- 障害児教育（特別支援教育）に従事する教員を対象に、正しい障害児教育のあり方を指導し、本校の障害児教育の質的向上を図る。
- 児童に対し、自立活動を中心とした指導を実施する。

背景にあるもの
障害児教育（特別支援教育）の歴史
５０周年を迎えたが・・・・

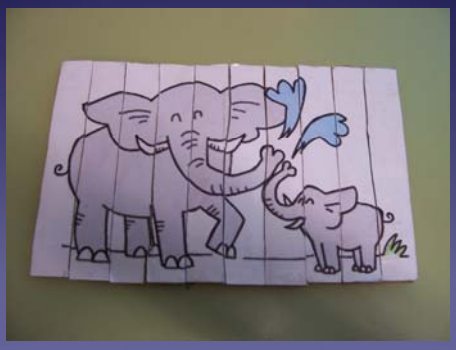
- 大学に特別支援教員を養成する課程がない。
- 知識がないまま、個別支援学級を担任。
- 一般の教員も、知識、指導技術が乏しい。
- 安い賃金。経験年数と比例せず。
- 教材費がない。やる気のある先生はポケットマネーで。

活動目標

- 特別支援教育の質的向上を図る。
- 聴覚に障害がある児童に対し、聴覚補償を図るとともに、聴覚活用をすすめる。
- パラグアイと日本との、文化交流を図る。

活動目標 1　特別支援教育の質的向上を図る。

数の学習



活動 1

目と手の共応運動

活動目標2　聴覚に障害がある児童に対し、聴覚補償を図るとともに、聴覚活用をすすめる.

- 聴覚に障害がある児童を積極的に受け入れている。
- シスターたちは、イタリアで聾教育を学んでいる。

しかし、悲しい現実・・・
補聴器がないのに、聴覚口話法。手話否定。
「この子は頭が悪いからしゃべれない。」
「なまけものだから、言葉を覚えられない。」

子どもたちのために私ができることはないか？

- 聴覚に障害がある子どもたちのことを知ってもらいたい。
- せめて言語指導場面では、聞こえを補償をしたい。
- 音を楽しむ気持ちを育てたい。

研修会「聴覚障害児の心理」　2006.11（教員対象）
2007.3（保護者対象）

聴覚活用までの道のり

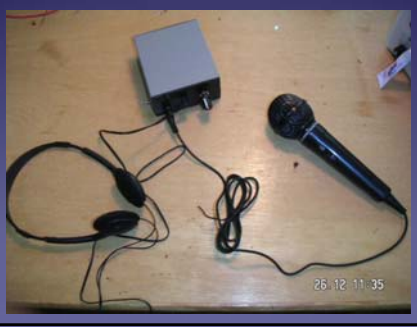
- 1学校長に相談「ことばの指導のときくらい、音を増幅して聞かせたい。」
  「姉妹校には、聴能訓練器がある。高くて買えない。」
- 2現役教師サポート（ejovv）にメールを通して相談
  庄司先生（筑波大学特別支援教育研究センター）からのアドバイス。
  日本教育オーディオロジー研究会に呼びかけ。
- 3電気専門のシニアボランティアの協力
  音声増幅器（聴能訓練器）
- 4補聴器1
  舞菌先生を通して、横浜市の難聴・言語障害通級指導教室の中古補聴器を送ってもらう。送料は、先生方からの寄付。
- 5補聴器2
  神奈川県の先生方による、パラグアイ視察の旅に同行した、JICA横浜スタッフによって届けられる。

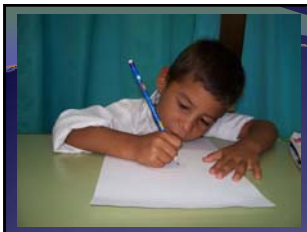
現役教師サポートに相談

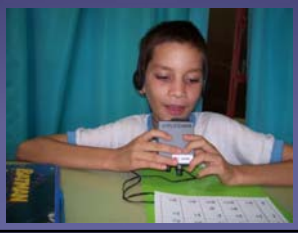
- 庄司先生からのアイディア（補聴器以外で）
  ①全国のろう学校に聴能訓練器が眠っている。
  →重量がある。送料が調達できない。
  ②マイク、アンプ、ヘッドホンを用いて作る。
  →電気専門のシニアボランティアに依頼。
- 他の方々からの意見
  ①過去隊員
  海外から調整ずみの補聴器寄附を受けたが、子どもたちは利用しなかった。
  聴覚に頼らないコミュニケーション手段を。
  ②聾教育を専門としてきた先生
  聴覚活用は、補聴器の適合が前提。補聴器がないと聴覚活用はできない。

シニアボランティアが製作

「音声増幅器」







音声増幅器（聴脳訓練器）

その良さ
- ・パラグアイにある材料で制作。
- ・低価格でできる。

問題点
- ・ラジオの音を拾ってしまう。
- ・騒音も増幅される。

↓

静かな場所で、軽度、中等度の難聴（特に伝音）の場合、効果あり。

箱形補聴器

一人の日本の先生からのメール（２００７年１月１１日）
通級教室で、現在使用されていない箱形補聴器を
活用してみてはどうか？

箱形補聴器のよさ
・調整しやすい。
・イヤチップで代用可。
・単三や単四電池を使用（充電池で対応）。

送料は、横浜市難聴・言語通級指導教室の先生方からの寄附！
東小学校小路先生の協力により、フッティングエイドも！

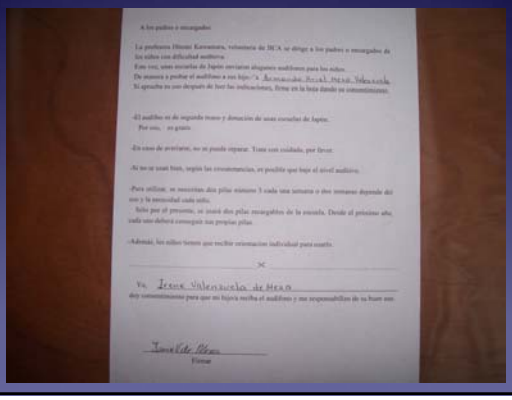
活動目標2 聴覚に障害がある児童に対し、聴覚補償を図るとともに、聴覚活用をすすめる。

2007年3月
箱形補聴器、騒音計、
フィティングエイドが届く！！

装用する児童は、校長と相談の上決める。

在籍学級での装用の様子

保護者の承諾書



Dictado 1 Palabras que todas sílabas termina sílaba abierta (libre)

Lunes 18 de junio de 2007

ききとりテスト
補聴器の効果を確かめる。

Nombre	Nivel auditivo		Modelo de audífono
niño	Derecho	Izquierdo	HA－28
	－dB	90dB	vol.5 azul F

Dictado： 20 palabras (Se nesecita que los niños ya sepan.)

auto	avión	banana	bebé	cama
coco	conejo	mamá	maté	mesa
	oso	papá		pelota
pomelo	sapo	tomate		uva

＊ Cada vez, deben cambiar el orden de las palabras.

口を見せて

	Con el labio	補聴器なし	補聴器あり
		sin audífono	con audífono
1	cama	mesa	1
2	uva	3	1
3	pelota	1	1
4	pomelo	1	2
5	mesa	1	1

口の隠して

	Sin el labio	補聴器なし	補聴器あり
		sin audífono	con audífono
1	cama	－	papa
2	uva	－	1
3	pelota	auto	1
4	pomelo	mesa	2
5	mesa	sapo	3

8	banana	1	1	8	banana	－	1
9	sapo	cama	1	9	sapo	pato	2
10	pato	1	2	10	pato	mamá	2
11	mate	1	1	11	mate	coco	1
12	conejo	tomate	tomate	12	conejo	avión	pato
13	auto	1	1	13	auto	ojo	1
14	ojo	oso	oso	14	ojo	oso	oso
15	uno	1	1	15	uno	banana	conejo
16	oso	1	1	16	oso	conejo	1
17	tomate	mate	1	17	tomate	uva	1
18	papá	1	1	18	papá	3	1
19	mamá	1	1	19	mamá	avión	1
20	coco	1	1	20	coco	tomate	oso
	sílaba	70％(14)	90％(18)		sílaba	10％(2)	70％(14)
	vocal	80％(16)	95％(19)		vocal	15％(3)	85％(17)
	口を見せて	なし	あり		口を隠して	なし	あり

補聴効果　補聴器にキスAくん

後期活動目標

聴覚に障害がある児童に対し、引き続き
補聴器装用指導をおこなう。

補聴器装用指導と聴覚活用学習

同じアルファベットで
始まる言葉の学習。

図とそれを言い表わす
言葉の一対一対応。

補聴器を通して、
自分の声を聞きながら
発音練習をする。

話覚の拡充。
自主学習

礼状作製

補聴器は宝物　　Ｂさん

水くみは彼女の仕事

洗濯も彼女の仕事

その他の活動

- 「平和への祈り」展（原爆展）
- 学習発表会（教育の見本市）
- 特別支援学級の児童と聴覚に障害がある児童に対し、粘土指導をおこなう。
- 聴覚に障害がある児童に対し、打楽器を通した音楽指導をおこなう。
- ブログを通してパラグアイを日本に紹介する。

活動３　「平和への祈り」展（原爆展）8月6日～11日

コンセプシオン市の学校を招待

とても器用な生徒たち

手伝ってくれた、同僚と生徒たち。

会場を訪れた校長に、鮪の折り方を教える難聴の生徒。

学習発表会

10月26日実施

水くみをしていた少女。学校行事の時は、正装（制服）になります。

特別支援学級の児童と聴覚に障害がある児童に対し、粘土指導をおこなう。

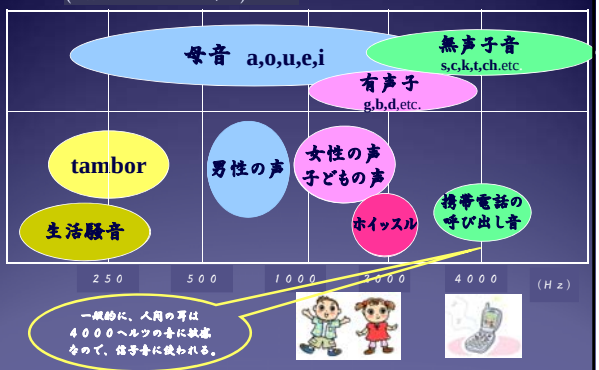
フィエスタにて粘土作品を販売

11月20日実施

聴覚に障害がある児童に対し、打楽器を通した
音楽指導をおこなう。

打楽器の音は、周波数帯域が低いので、
比較的聞き取りやすいとともに、振動を通して、音の存在を感知することができるため、聴覚に
障害がある児童には、適した楽器といえる。

音の高さ
(Hzヘルツ：周波数の単位)



「世界の笑顔のために」楽器到着！！
1月21日

説明会「楽器の演奏法」2月21日実施

「きらきらぼし」演奏

活動目標3 パラグアイと日本との、文化交流を図る。

ブログ パラグアイの空
heep://blog．yahoo．co.jp/nayramidori2006/MYBLOG/yblog.html?=361939&m=lc

活動をふり返って

～パラグアイの想い出～

- ちょっとだけ擬似体験
  周りが何を話しているのか、
  どうして笑っているのか分からない。
  何度も聞いたら悪いかな･･･。
  分かった振り。

- 多くの人たち（パラグアイ人、日本人）の
  支えがなければ活動できなかった。

聞こえにくくても、音楽に関心がある。

聞こえにくくても、ダンス大好き１

聞こえにくくても、ダンス大好き２

７，８，９年生

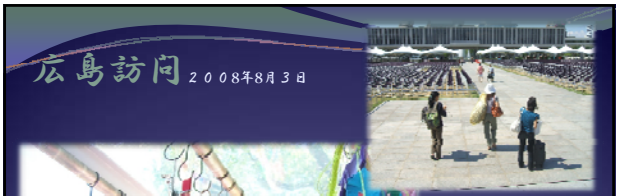
帰国後の活動

- 補聴と聴覚活用を語る　サマーフォーラム2008にて
  パラグアイの難聴児との出会い」と題し、実践報告。
  （2008年7月20日）

- 17年度３次隊隊員とともに、広島を訪れ、JICA広島
  スタッフの協力を得て、「平和への祈り」展で来場者に
  作ってもらった千羽鶴、メッセージカード、寄付金を届ける。
  （2008年8月3日）

- 帰国隊員報告会　（2009年1月10日）

広島訪問 2008年8月3日



今後の予定

- 勤務校にて、教職員対象に、報告会を実施予定。
  （2009年1月中旬）
- 異文化（多文化）交流集会で、勤務校児童を対象に、パラグアイの子どもたちや、文化・生活習慣について話をする。
  （2009年2月14日）

ご静聴ありがとうございました。